

## 日本免疫毒性学会 平成 19 年度 総会 議事録

日時：平成 19 年 9 月 20 日（木）午後 1 時 10 分～午後 1 時 50 分

場所：兵庫県民会館 9 階県民ホール

恒例により吉野第 14 回学術大会年会長が議長となり、開会の宣言とともに議事次第（資料映写）に従って議事に入った。

1) 大沢理事長挨拶：現理事会の任期が今年度一杯で終了することに伴い、任期の総括を提示された。以下の点を任期中の目標として掲げ、

1. 学会組織の確立
  - ・ 役員の役割分担，選任方法の確立
  - ・ 会員の拡充，学会会計の改善
2. 風通しの良い学会
  - ・ ホームページの開設
3. 学会活動の充実化
  - ・ 学問的並びに社会的にも情報発信の場となる学会活動への指向
  - ・ 国際化の検討

「1」「2」の項目については概ね順調に経過した旨報告された。また、「3」についても議論を深める体制が整いつつあり、今後の学会運営に期待するとの報告であった。

### 2) 会務報告（資料あり）

① 事務局報告：事務局大槻より、会員数の推移（含：会費納入状況）、運営委員会の開催、事務局移転、名簿作成について報告された。なお、前事務局時に、会費 3 年度以上未納者を退会扱とした経過があったものの、事務局移転に際してファイル等の不備が生じて、本事務局報告では当該会員も会員数に合算されたものとなっていた。本年度末に改めて 3 年度以上未納者については名簿配布時に退会の意思を確認した上で、年度末に対応することが理事会で合意された旨報告された。加えて、学生会員については、従来通り 1 年以上未納の場合には退会扱とすることも、理事会で確認された旨報告された。なお、会計報告と事務局報告の 2007 年 4 月時点での会員数が異なる点は、上記の事由に拠ることが説明された。

### ②学術大会

i) 第 14 回学術大会：吉野年会長より当日開催中の学術大会について参加への謝辞とともに活発な大会になるようにとの協力の要請があった。

ii) 第 15 回学術大会：澤田年会長より資料に基づき報告された。期日は平成 20 年 9 月 11・12 日、学術大会は東京都江戸川区のタワーホール船堀が会場になることが報告された。詳細は漸次ホームページ等で連絡するとのことであった。

### ③委員会報告

i) 広報編集：藤巻委員長より Newsletter23 号の発刊、新委員として角田正史評議員の就任と、英文の充実を図る検討を行っていることが報告された。

ii) ホームページ：大槻より平成 19 年 6 月 1 日より新ホームページの運用が開始され、現在バナー広告サイトについて牧委員を中心に検討中である旨報告された。

iii) 試験法・学術：澤田委員長より両委員会について、試験法についてはワークショップを開催する

ことで対応し、また学術についてはアジア地域からの学術大会参加者を募るためにホームページ英語版の運用待ちであったことが報告された。なお、国際化については別途委員会設置の必要性について検討中である旨報告された。

iv) 将来構想：北條委員長より資料に基づき「会員確保と活動支援」、「学術大会の充実」および「国際化」について理事会への提案事項の紹介が行われた。また、検討の中で、評議員に活動して貰う必要があることから、その検討の中の一例として、ホームページ上に開示する免疫毒性用語集などの編纂を多くの評議員に依頼することを検討している旨報告された。

以上の会務および学会活動の報告は、一括して了承された。

### 3) 審議事項（資料あり）

#### ① 学会諸規定の改定

大槻事務局長（総務担当理事）より学会諸規定の改定について下記の理事会了承案が提示された。主な変更点は、役員等規定の3：年齢に関する点で、従来全役員に選任時65歳以内であることの規定があったものを理事と評議員に限ることにする点である。なお、理事会の承認を得た場合の例外規定も同時に設ける案となっている。審議の結果、他の改定部分も含めて提案通りに承認された。

	現行	改定案
1) 役員等規定の3	役員の年齢は	理事及び評議員の年齢は 但し、理事会の承認を得た場合には、この限りではない。
3) 名誉会員規定の3	免除されることがある。	免除される。
4) 委員会規定の4	委員会をおく。	委員会等をおく。
5) 学術大会規定の3	運営委員会 理事会	年会長 運営委員会
6) 同上の4	一般講演	一般演題
7) 追加	(付則) 1.この規定は、平成13年9月17日より実施される。 2.会則改定に伴い、平成15年9月25日改定。 3.この規定は、平成18年9月14日改定。 3.この規定は、平成19年9月20日改定。	

#### ② 会計報告（巻末資料参照）

##### i) 平成18年度（2006年度）会計報告（案）

吉田会計担当理事より平成18年度会計報告が行われた。また、小島会計監事より、高橋・小島両監事によって行われた監査の結果、会計が適切に処理されていることを確認した旨報告された。その後本案は、提案案通りに承認された。

##### ii) 平成19年度（2007年度）補正予算（案）

吉田理事より平成19年度予算は、当初予算になかったホームページ作成費が、学会活性化の先行投資として、理事長決裁・理事会承認の下に支出されたことに伴い、補正予算として再提出される旨報告された。審議の結果、ホームページ作成費の臨時支出は総会としても承認され、本案は認められた。

##### iii) 平成20年度（2009年度）暫定予算（案）

吉田理事より平成20年度暫定予算案が提出された。収入についてホームページ・バナー広告料による増収見込が計上されており、提案通りで処理することが確認され、本案は承認された。

##### iv) 会計改善策についての報告

本議題では、ホームページ・バナー広告により収益を計ることと、会費徴収の徹底化に努めることが報告された。また、会費振込みについては、郵政民営化に伴い郵便口座保有会員からの振込みは直接振込が若干廉価となるが、事務処理等の点で不備が生じる可能性があり、現行振込のままで行いたい旨報告され、承認された。

### ③ 人事

現任役員（理事、理事長、会計監査、評議員）の任期は今年度（平成 20 年 3 月末）までであることから、理事長より次期役員（任期：平成 20 年 4 月～平成 23 年 3 月までの 3 年）について理事会案が提案された。

i) 理事：本学会規模での安定した継続性のある学会運営を営むため、諸規定改定案に伴い年齢その他の事由にて選任対象外となる理事（3 名）を除き、現任理事の再任が提案され、承認された。

3 名の欠員については、現評議員を対象としたアンケート調査の結果（平成 19 年 6 月実施）に基づき、新理事として次の 3 名の評議員が指名され、承認された。

新理事	野原恵子	国立環境研究所
	手島玲子	国立医薬品食品衛生研究所
	上野光一	千葉大学大学院薬学研究院

ii) 理事長：理事会での互選の結果、推挙された澤田純一理事（国立医薬品食品衛生研究所）が、次期理事長として承認された。

iii) 評議員：年齢規定等で評議員の対象から外れる現評議員（5 名）を除き、現評議員の原則再任が提案され、承認された。また、規定に基づき現評議員 2 名の推薦を受け推挙された 14 名の新評議員候補が、新評議員として承認された。

#### 新評議員(14 名)

川合真一郎	神戸女学院大学 人間科学部
小林隆弘	東京工業大学 統合研究院 ソリューション研究機構
永瀬久光	岐阜薬科大学 衛生学教室
高木邦明	静岡県立大学薬学部 産業衛生学教室
中村亮介	国立医薬品食品衛生研究所 機能生化学部
森本泰夫	産業医科大学 呼吸病態学
佐藤政男	徳島文理大学 薬学部
金澤由基子	(財)食品薬品安全センター 秦野研究所
小西良子	国立医薬品食品衛生研究所 衛生微生物部
尾上正治	(株)ヤクルト本社中央研究所
三浦大志郎	帝人ファーマ株式会社
大西康之	(株)三菱化学安全科学研究所 鹿島研究所
間 哲生	第一三共株式会社 安全性研究所
篠田直樹	参天製薬(株) 安全性・動態グループ

iv) 監事：理事長の委嘱役員である監事については、現在の高橋・小島両監事に引き続き委嘱する旨報告され、了承された。

v) 委員会委員：新年度の新理事も含めた理事会・運営委員会で検討することが報告された。

vi) 年会長：次々年度（平成 21 年度／2009 年度）学術大会年会長に旭川医科大学 吉田貴彦理事が推薦され、満場一致で承認された。なお、吉田理事より、9 月半ばは観光シーズンにあたり、航空機ならびに宿泊に不都合が生じる可能性が高く、9 月初旬もしくは 10 月初旬を候補と考えたい旨報告された。

以上の議事後、吉野議長の開会の言葉をもって総会を終了した。

平成 18 年度 (2006)年度 会計報告(案)

収 入

(単位円)

科 目	補正予算	決算	備考
前年度(2005年度)繰越金	485,407	1,236,002	
H17年度(2006)年度会費	1,566,000	1,138,000	@6,000 X 188, @2,000 X 5
過去年度会費		166,000	@6,000 X 26, @4,000 X 2, @2,000 X 1
会費前受け金		42,000	@6,000 X 7
第13回学術大会(倉敷)運営戻し金		100,000	
著作権使用料		6,000	㈱情報機構
預金利息	1,000	498	
収入合計	2,052,407	2,688,500	

支 出

科 目	補正予算	決算	備考
第14回学術大会(神戸)運営費	600,000	600,000	
会議費	200,000	217,985	委員交通費等
通信費	100,000	20,460	切手, 宅配料金
News Letter 印刷費	100,000	153,720	2号分(印刷は保存用のみ)
事務費	300,000	204,690	文具, 振込料, アルバイト代, 事務員
ホームページ維持費	200,000	0	旅費
次年度(2007年度)への繰越	552,407	1,491,645	旧ホームページ
支出合計	2,052,407	2,688,500	

平成18年度(2006年度)日本免疫毒性学会

会計監査報告書

平成18年度日本免疫毒性学会の会計書類を慎重に監査した結果、適切に処理されていることを確認いたしましたので、ご報告いたします。

2007年 8月 20日

高橋道人

高橋道人 

2007年 8月 28日

小島幸一

小島幸一 

平成 19 年度 (2007)年度 補正予算(案)

収 入 (単位円)

科 目	予算	補正予算	備考
前年度 (2006 年度) 繰越金	1,200,000	1,491,645	2005 年度繰越実績 1,236,002 円
H19 年度 (2007) 年度会費	1,530,000	1,416,000	内訳 (会費 6,000, 会員数 236 名, 2007 年 4 月現在)
雑収入	1,000		銀行預金利子 2005 年度実績 5 円
収入合計	2,731,000	2,908,645	

支 出

科 目	予算	補正予算	備考
第 15 回学術大会 (東京) 運営費	600,000	600,000	於：東京
会議費	300,000	250,000	会議費 (委員交通費含む)
通信費	100,000	50,000	名簿送料等
News Letter 制作費	150,000	150,000	2 号分 (印刷は保存用のみ)
事務費	300,000	200,000	文具, 振込料, アルバイト代, 事務員旅費
ホームページ作成費		903,210	理事会の承認のもと, 新規に HP 作成
ホームページ維持費	200,000	200,000	見積もり 204,435 円
次年度 (2008 年度) への繰越	1,081,000	555,435	
支出合計	2,052,407	2,688,500	

平成 20 年度 (2008)年度 暫定予算(案)

収 入 (単位円)

科 目	予算	備考
前年度 (2006 年度) 繰越金	555,435	
H20 年度 (2008) 年度会費	1,416,000	内訳 (会費 6,000, 会員数 236 名, 2007 年 4 月現在)
ホームページ・バナー広告	200,000	見込
雑収入	500	銀行預金利子 2005 年度実績 5498
収入合計	2,171,935	

支 出

科 目	予算	備考
第 16 回学術大会 ( ) 運営費	600,000	於：東京
会議費	250,000	会議費 (委員交通費含む)
通信費	50,000	名簿送料等
News Letter 制作費	150,000	2 号分 (印刷は保存用のみ)
事務費	200,000	文具, 振込料, 印刷費, アルバイト代, 事務員旅費
ホームページ維持費	200,000	
次年度 (2009 年度) への繰越	721,935	
支出合計	2,171,935	